

競 技 注 意 事 項

1 本大会は2008年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および大会要項、競技注意事項によって実施する。

2 ナンバーカードについて

- (1) 配付したナンバーカードを、そのままの大きさをユニホームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバーカード」を招集時に配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) 瑞穂北陸上競技場が下記の時間使用できる。
2日(日)は11時30分～16時30分
3日(月)は7時00分～17時00分まで使用できる。IDカードにより規制する。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用は競技役員の指示に従う。(事故防止・安全確保の措置)
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、7時30分～8時30分まで使用できる。400mHは、アウト4レーンに4台準備する。

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設ける。ID規制がある。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目(組で区分する)	30分前	20分前
跳躍競技	走幅跳 三段跳 走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	90分前	80分前
投てき競技	砲丸投	40分前	30分前
	ハンマー投 やり投	50分前	40分前
	円盤投	60分前	50分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任(招集所)に事前に申し出る。
- (5) やむをえず棄権する場合は、必ず棄権届(用紙は招集所)に監督署名のうえ提出すること。

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、すべて招集所より係の誘導により行う。
- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天室内走路(全天候)を経て退場する。
※ただし、決勝において1～3位の入賞者はフィニッシュ地点待機所より係(場内司令)によって表彰室へ誘導する。
※衣類はフィニッシュ地点へ運搬する。
 - ・フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。
※決勝において1～3位の入賞者は、競技終了後フィールド審判員によって表彰室に誘導する。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

7 トラック競技の決勝進出の決定について

- (1) タイムにより決勝進出者の決定について、同記録があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が1000分の1秒で記録されたタイムにより優劣を判定して出場者を決める。それでも決められないときは抽選する。（競技規則第167条）
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスより10分以内に本部へ集合すること。
- (3) 進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示板で発表する。

8 競技について

- (1) トラック競技について
 - ①すべて写真判定装置を使用する。
 - ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ④2組以上でタイムレース決勝を実施する場合、記録上位を最終組とする。（リレーを除く）
 - ⑤3000mSCはスタート後20分、3000mWはスタート後25分でレースを打ち切る。
 - ⑥100m+200m+300m+400mリレーは、第3走者（320m地点）からオープンとする。
- (2) フィールド競技について
 - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②砲丸投を除く投てき競技の計測は、光波測定器を使用する。
 - ③三段跳の踏切板は、10mと9mで行う。トップ8は10mピットで行う。
 - ④走幅跳と16歳以上走高跳は2ピットを使用して行う。走幅跳はトップ8をBピットで実施する。
 - ⑤やり投は、A組とB組に分けて3回の試技を行い、その後トップ8を実施する。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。（競技規則第144条）

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更することがある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
13～15歳走高跳	1m30, 1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	以後3cm
16歳以上走高跳	1m35, 1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以後3cm
13～15歳棒高跳	2m40, 3m00	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	以後5cm
16歳以上棒高跳	2m80, 3m40	2m90	3m10	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	以後5cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※棒高跳の競技者は招集時に「棒高跳支柱位置申請」を行う。用紙は招集所に用意する。

10 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。
- (2) リレー競走で使用するマークは主催者で用意する。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。個人の所有物は使用できない。サークルを使用する投てき競技はサークル外に1個マークを置くことができる。

11 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

12 表彰について

- 1～3位に対して表彰式を行うので、競技終了後各競技役員の誘導で表彰室に集合する。
- 4～8位入賞者は成績発表後、本部表彰室にて各自受け取る。

13 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 3日の開門時刻は、午前7時30分である。それ以前には立ち入らない。
- (2) 応援幕、のぼり旗はバックスタンドの最上部に限り認める。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任もって行い、環境美化に努める。ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

14 その他

- (1) 本大会は大型ビジョンを活用して競技会運営を行う。
- (2) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ち込む場合以下の規定を守る。
 - ①上半身の衣類………面積30㎢以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体では縦5cm以内とする。
表示は1ヶ所とする。
 - ②下半身の衣類………面積20㎢以内、文字は縦4cm以内(ロゴを含む)のもの1ヶ所とする。
 - ③バ ッ グ ……面積25㎢以内で2ヶ所(同一のものでなければならない)
 - ④競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (3) 記録証の希望者は、300円を添えて記録室へ申し込むこと。
- (4) カメラ、ビデオの撮影は、撮影禁止エリアをもうける。係員の指示に従うこと。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
北側男子更衣室：13～15歳とサブイベント出場者
北側女子更衣室：16歳以上の出場者
- (6) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (7) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(フィニッシュ付近スタンド下)において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (8) 愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。怪我の治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用下さい。なお、テーピング用のテープは利用者で負担(持参)してください。
- (9) 大会の団体受付について。
2日は11時～16時・3日は7時30分～12時、瑞穂陸上競技場正面階段横のテントで受付をする。
ナンバーカード、プログラム、IDカード等の配付をする。
- (10) 大会のIDコントロールについて
瑞穂陸上競技場1階北出入口・南出入口及び2階雨天走路から招集所、更衣室への移動については必ず携帯すること。1階は全てIDコントロールする。また、北陸上競技場の利用に関してもIDカードにより利用者を規制する。
- (11) 棒高跳ポールの返送を希望する場合は、所定の用紙に返送先を明記し、瑞穂陸上競技場フィニッシュ横の南器具庫に提出すること。
- (12) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(財)日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は資格審査、プログラム編成、記者発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。